令和２年度事業報告書

1. 法人の理念

事業期間：令和２年７月１日～令和３年６月30日。

NPO法人「こころのはな」は「競争せずに自分を育てる」「共に教え合い学び合う」ことに幸せと使命を感じ、全ての人が持っている「こころのはな」を大切にしたいという理念のもとで活動しています。

2. 事業活動の報告

「脱ひきこもり」支援事業・「子ども食堂」・「子どもの居場所」・ＤＶ民間シェルター事業の活動を継続しました。

また、「ひきこもり女子会」・「ひきこもり家族会（親の交流会）」・「講演会」を開催いたしました。

具体的な活動は以下の通りです。

1）　不登校を主としたスクールカウンセリングの実践、研究を行う、京都光華女子大学大学院　健康学科部　心理学科教授　臨床心理士・公認心理師の徳田仁子先生に、～ストレスからしなやかに立ち直るチカラ～「レジリエンス」をすぐに実践できる考え方やヒントを話していただきました。参加費500円で約20名の参加者が来られました。(令和２年11月３日)

「不登校・ひきこもり体験談・７年間の支援者経験談」（ＮＰＯ法人こころのはな　事務局　山科）・「約20年間のひきこもり当事者・ご家族への支援者経験談」（全国家族会・市民の会エスポワール代表　山田孝明さんと共催）との対話交流会に、参加費500円で11名の参加者が、来られました。（令和２年12月５日）

ひきこもり女子会は、6、2，３月に２回、全１５回（ZOOM配信含む）実施しました。延べ180名の参加者が来られました。

上記、３事業で京都府地域再生力プロジェクト交付金を596,000円頂きました。また、オムロン基金より237,200円頂きました。

2）　子ども食堂は、緊急事態宣言下はお弁当にて、毎月２回、全２４回開催し、延べ参加数　562人（子ども474人、保護者

88人）でした。京都府から290,000円の補助金、オムロン基金より約184,000円頂きました（特別支援事業含む）。

3）　脱ひきこもり支援事業では、京都府から1,160,000円の補助金、自己負担分78,600円を合算しました。不登校の中学１年生男性を約１週間､40代の男性を約２週間お預かりしました。通所者は３名来られました。相談支援多数。

4）　子どもの居場所事業では、令和２年度は、生活充実通年型で103日と１泊２日の宿泊体験を　２回（夏・冬休み）実施致しまして延べ356人(内ひとり親家庭283人)の参加があり、京都府から委託金として5,000,000円を頂きました。翌年度（令和３年度）は、生活充実通年型を100日でスタートすることが、できております。

5）　ＤＶ民間シェルター事業では、宇治家庭相談所・京都府総合家庭支援センターより、30代男性を２日間、親子３名（父40代・男児３歳・女児１歳）を41日間お預かりしました。

6）　コロナウィルスの自粛中の活動としては、子ども食堂は、入口でお弁当を渡す形式をとっております。

ひきこもり女子会は、4～6月は、ZOOM配信を取り入れたハイブリッド女子会として、開催いたしました。

7）　理事長をはじめ多くの方から寄付金と、宇治市社会福祉協議会や青谷学園のストックセンターより食材を頂きました。

8）　学生ボランティア団体（ドット.JP）より、２月３月の２ケ月間に、５名の学生を受け入れまし　た。

・令和２年度会計報告・・・別紙の通り。

3.理事会の開催

令和２年８月12日

議案：令和元年度事業報告・令和２年度事業計画・監査報告

決議：令和元年度事業報告・令和２年度事業計画・監査報告を承認した。